

「公助」の充実こそ必要不可欠

防災 避難が難しい人の正確な把握を！



市は法にもとづき、自力で避難が難しい人を名簿化し、避難支援の計画作成を進めています。これまで要介護3以上、障害1・2級、75歳以上などの方が対象でした。

しかし2019年から、市の「調査票」に回答のなかった人を名簿化の対象外とし、人数が半分以下になりました。これでは支援の必要な方を見逃していることも考えられ、未回答者の実態把握を求めました。

要配慮者名簿	
2018年度	5794人
2019年度	2762人

半減 ↓

福祉 18歳から健診の実施を！

長岡京市では40～74才の特定健診に加え、20～39才の健診を行っていますが、学校卒業後せめて18才から実施すべきだと求めました。また、20～39才の健診がコロナを理由に今年は中止されていますが、分散させるなどして行うべきだと求めました。



子ども



子どもたちの熱中症

「暑さ指数31℃以上で運動は原則中止」との指針が国から出されていますが、市は現場まかせにしており、「明確な基準を持つべきだ」と求めました。実際に搬送された事例もあり、子どもの命と健康を最優先すべきです。

教室のエアコンの効きかたにも差があり、まず温度計を置くよう求めました。また、体育館にエアコンを設置するよう、国の補助金も示しながら求めました。

まちづくり



大規模な解体でも、説明会の義務づけを

市の「まちづくり条例」では、大規模の建築には説明会の義務づけがありますが、解体だけの場合は対象外となっています。エピコット解体の説明会は、住民の求めで任意で行われました。今後「条例・規則の改正」を、検討するよう求めました。

水道 一時的でも「給水停止」は回避を



2019年度、滞納による水道の給水停止は22件ありました。いずれも解除されましたが、北九州市では餓死事件もあり、コンタクトなしに「命の水」を停止すべきでないと言及しました。

市民の声で前進

議員団が求めていた保育士確保するための施策「保育士宿舍借上げ支援事業補助金」が来年度実現へ。

障がいのある人への「愛のタクシー事業」の支給額も来年度から年12000円へ拡充する。と答弁されました。



光明寺周辺の歩道拡張へ



海印寺こども園前の拡幅



長九小の学童クラブ建替



神足橋～大門橋間に街灯



指定ごみ袋購入制度ではなく、 市民の減量・リサイクルを応援してこそ



市は指定ごみ袋購入制度を導入しようとしていますが、必要なのはごみ減量への習慣や意識を高めることと、分別や減量を進めやすい環境をつくることではないでしょうか。

[議員]



宇治市や城陽市などの可燃ごみは、「透明・半透明」であればレジ袋などで出すことも可能であり、それで減量・再資源化を進めている。なぜ長岡京市は「指定ごみ袋」でなければいけないのか？



[市]



「袋の強度・透明度の線引きが難しく、市民の混乱を招く恐れがあるから」

[議員]



家庭ごみステーションは、市内で約2200ヶ所の設置があるのに対し、資源ごみステーションは約200ヶ所、古紙・段ボール類のステーションは約300ヶ所しかないの、これを増やして市民が分別しやすくしてはどうか？



[市]



「資源ゴミのステーションは、収集後の近隣住民の清掃など負担の増加になる。古紙・段ボール類のステーションは、必要に応じて協議する」

自治体別 ※10枚セット 45L袋の販売価格



ごみの減量・リサイクルへ 共産党の提案

1. ごみ分別・減量の環境整備
 - 古紙回収・資源ごみ回収
 - 資源ごみの環境整備（場所や回数）の充実
 - ステーションの指導員配置や環境整備
 - 生ごみ処理・廃油回収など
2. 事業系ごみの分別・減量支援
3. 大量廃棄・過包装など見直し

あなたのご意見・ご要望をお寄せください。

よろしければおきかせください。

お名前

ご住所

お電話

暮らしの相談ごと、あなたのご意見をお寄せください。

党議員団（直通）電話955-9551 FAX955-9741

e-mail jcpnagaokakyo@gmail.com



議員団HP
QRコード

日本共産党長岡京市会議員団 検索